

第29回
サイエンスカフェえひめ

石鎚山系に迫る ニホンジカ 増加の危機

近年、ニホンジカの増加によって、農林業被害だけでなく、自然生態系への深刻な影響が各地で顕著となっています。四国の中ではシカの進出・増加が遅かった石鎚山系でも、事態は確実に悪化しています。演者・森林総合研究所の奥村さんの主なフィールドである南予・三本杭の状況を中心に、剣山・三嶺の状況、石鎚山系での最近の調査情報をご報告・解説いただき、今後の対策についても考えたいと思います。



写真【上】下層植生の消滅したブナ林(宇和島、三本杭周辺) 【中】ササ原が全滅した三本杭山頂 【下】ニホンジカ・オス成獣

日時 平成31年

1月29日(火)
19:00~20:45

場所 愛媛大学 松山市文京町3番
愛大ミュージアム(ミュージアムがある建物)
1F ミュージアム多目的室

対象 テーマに関心がある方 40人

◆話題提供 奥村 栄朗(おくむらひでお)さん

国立研究開発法人 森林研究・整備機構 森林総合研究所
四国支所 流域森林保全研究グループ 研究専門員

1955年 滋賀県大津市生まれ、東京大学農学部林学科卒業。
1984年 林野庁林業試験場(現・森林総合研究所)研究官となり、カモシカ、シカを中心に、野生哺乳類の生態や保護管理、被害防除等の研究・調査に携わる。
2005年より森林総合研究所・四国支所に勤務。

【お申し込み】 お名前、電話番号、e-mailアドレス(お持ちの場合)を明記の上、下記連絡先までお申し込みください。(個人情報は適正に管理し、当事業関係のご連絡にのみ使用します。)

NPO 森からつづく道 (松山市鉄砲町1-7)
e-mail: info@morimichi.org
FAX: 089-992-9152

主催: NPO 森からつづく道
共催: 愛媛県石鎚山系生物多様性保全推進協議会
後援: 愛媛大学ミュージアム



★今回は愛媛県石鎚山系生物多様性保全推進協議会の共催を得て、参加費を無料としております。